

希望を語る

2000 年 8 月発足

19年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

新著 『日本人に合ったがん医療を求めて

… 医師、患者、家族の方々に一番伝えたいこと 』

院長 水上 治

上記テーマの久しぶりの新著が 11 月 12 日発売となります。当院でも、アマゾンでも入手できます。

戦後のアメリカ型がん医療にほころびが生じています。私が医師になったころはがん告知ゼロが今はほぼ 100%。しかしうつになって自殺する確率は欧米の 8 倍です。日本人はうつになりやすいのが配慮されていません。

私は、がん告知はすべきとは思いますが、人によっては、ワンクッション置いてもいいのではと考えています。いろんな報告でも、がん告知を避けたい人が半分くらいいます。要するに、患者さんが何かしらの希望を持てるような告知が望ましいと思います。

また、様々ながん医療の選択肢から、主体的に選び取れる患者さんは日本人には少ないです。間違いなく米国型医療の押し付けでなく、日本人に合ったがん医療が今や求められていると確信しています。

私の半世紀にわたるがん診療の中で、患者さん達から教えられてきたことを正直に吐き出しました。これからのがん医療は、医師と患者さんが心を通わせて、新たに創っていく医療です。

ぜひ新著を読んでいただいて、感想をお知らせください。

亡き母に

小林美智代さま



年令と共に、母のことをよく思い出します。

早逝した母の、老いた姿を私は知りません。只、今でも忘れられない風景のひとつに、葬儀の日近所のクリーニング屋さんや食料品の、その頃小僧さんと呼ばれていた少年達が、次々にお焼香に来てくれたのです。

そう、母は配達に来るその少年達の話をよく聞いてあげておりました。まだ子どもの年令なのに故郷を離れて働いている彼等は淋しかったのでしょうか。母のなぐさめる言葉や励ます言葉をじっと聞いている姿が心に残っております。ものない時代でしたが、おやつをふるまっておりました。

体が弱かった母でしたが、床について一週間でこの世を去りました。母らしい逝き方でした。そして医学の役に立ちたいと解剖を希望し、願を果たしました。みごとな生涯だったと思います。

私もよく逝きたい、感謝してこの世を去りたいと思います。

令和1年夏

みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



季節の便り



浅野伸一さま

重陽の節句(旧暦 9 月 9 日)をご存知でしょうか。「菊の節句」ともいいます。桃の節句(3 月 3 日)端午の節句(5 月 5 日)七夕の節句(7 月 7 日)と並んで平安時代では重要視されていました。中国では奇数は縁起がよい陽の数とされていて、一番大きな陽の数の 9 が 2 つ重なることから「重陽」と名付けられました。菊は靈草と信じられ、この日は菊の花を浮かべたお酒を飲み、長寿と無病息災を願いました。

中秋の名月が芋名月なら十三夜(10 月 11 日)は「栗名月」で「豆名月」とも呼びます。中秋の名月を祭る行事は東南アジアでも行われていますが、十三夜のお月見は日本独自のものです。「後の月」または「二夜の月」と呼ばれています。

♪お月さんいくつ十三・七つ〜まだ年や若いな♪ は十三夜の七つ(午後 5 時)の月の若さを歌ったものとされています。

ふと思い出したのですが、昭和の高度経済成長期の頃、高島田髪と和服姿で素晴らしく透き通った声で ♪ふと見合わせる顔と顔 立ちどまり なつかしいやら うれしいやら…蒼い月夜の十三夜♪ と唄った美貌の歌手、榎本美佐江さんの歌はとても良い歌でした。

南の窓から差し込む太陽の光が夏の盛りの頃に比べると奥の方まで届くようになりました。冬に向かって太陽高度が低くなり光がいつそう斜めになって行くのです。光が斜めになるにつれ大気中を通過する距離が長くなり、空気によって青い系統の光が余計に散乱されます。

太陽が西に傾いて空が茜色に染まる夕方。あっという間に日が沈んでしまいます。その様子を釣瓶落しと言います。釣瓶とは井戸から水を汲み上げる滑車を使った桶のことですが、陽の沈む速さを井戸の底へと釣瓶がサーッと落ちてゆく様子に例えたのです。

秋に一番早く木の葉が色づくのが「ななかまど」で真っ赤な丸い実が房になって下がります。七度かまどに入れても燃え残るほど燃え難い木の例えからその名が付いたといえます。

やたらと秋が深まる頃、山が紅葉する様子を「山粧ふ(やまよそおう)」と言います。埼玉県内では秩父地方に行くと「山粧ふ」がよく実感できます。この言葉は俳句の季語にもよく使われていて、良い感じがします。



南面を ^{まだら}斑化粧や片瀬山





クリスマス音楽会

2019 年 12 月 18 日(水) 11 時半～12 時半

♪ヘンデル作曲 リコーダーソナタ 変ロ長調(全 3 楽章)
♪クリスマスソング など

リコーダー演奏:深見奈央

要予約 参加費¥5,000.-

※当院患者様・ご家族、および e-クリニックの方は無料



《院長と共に癌の勉強会》水上医師

第 4 水曜日 11 月 27 日 15:00～16:00

前向きになれなくとも、
あるがままでいい？

要申込!!

☆当院患者様
☆そのご家族
☆e-クリニック関係者
参加費無料

それ以外の方
参加費 5,000 円

《瞑想指導》加藤医師

第 2 水曜日 11 月 13 日 15:00～16:00

点滴治療中の方もご参加いただけます

お気軽にどうぞ！

場所 シアタースペースにて



☆今月のお花☆ 薔薇

やっといつもの秋がやって来ましたね。今年は夏も台風も長いこと居座り、ちゃんとした秋が来るのだろうかと心配していました。

今月は色々な薔薇をたくさん生けました。薔薇は古代ローマ時代より、多くの人を魅了して、今では種類も 2 万種以上あると言われています。

5 代ローマ皇帝ネロは晩餐会で部屋中に薔薇を飾り、池に薔薇を浮かべ、薔薇の水が出る噴水を作り、天井から薔薇を降り注ぎ、お料理にまで薔薇の花を使ったそうです。その美しさ故に繊細な印象がありますが、鋭い棘があったり、砂漠で咲く品種もあり、芯の強さを感じます。それも薔薇のひとつの魅力なのでしょうね。花言葉は「愛情」「美」

M.I.